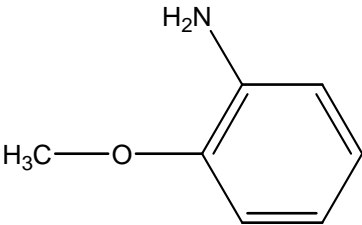


化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	2000 - 13	官報公示 整理番号	3 - 682(化審法) 1 - 14(化学物質管理促進法)	CAS 番号	90 - 04 - 0
名 称	o-アニシジン 別名：2-アミノアニソール		構 造 式		
分子式	C ₇ H ₉ NO		分子 量	123.15	
<p>市場で流通している商品(代表例)¹⁾</p> <p>純 度 : 99%以上</p> <p>不純物 : o-クロロアニリン(0.5%以下)、p-アニシジン(0.5%以下)</p> <p>添加剤または安定剤：無添加</p>					
<p>物理・化学的性状データ</p> <p>外 観：黄色液体²⁾</p> <p>融 点：5³⁾</p> <p>沸 点：225³⁾</p> <p>引 火 点：118³⁾</p> <p>発 火 点：415⁴⁾</p> <p>爆発限界：文献なし</p> <p>比 重：d₄²⁰ 1.092³⁾</p> <p>蒸気密度：4.25(空気 = 1)</p> <p>蒸 気 圧：< 0.133 kPa (< 0.998 mmHg)(30³⁾)</p> <p>分配係数：log Pow ; 1.18(実測値)、1.18(計算値)⁵⁾</p> <p>加水分解性：文献なし</p> <p>解離定数：pK_b ; 9.48⁶⁾</p> <p>スペクトル：主要マススペクトルフラグメント m/z 108(基準ピーク, 1.0)、123(0.83)、80(0.63)⁷⁾</p> <p>吸脱着性：文献なし</p> <p>粒度分布：該当せず</p> <p>溶 解 性：o-アニシジン/水 ; 15 g/L(20³⁾) エタノール、エーテルなどの有機溶媒に可溶⁶⁾</p> <p>換算係数：1 ppm = 5.12 mg/m³ (気体, 20³⁾) 1 mg/m³ = 0.20 ppm</p>					

総合評価

1) 危険有害性の要約

本物質のヒトにおける急性影響は報告されていないが、慢性影響として頭痛、めまいを示す例で、スルフヘモグロビン及びメトヘモグロビンの増加とハイנטツ小体を含む赤血球がみられると報告されている。実験動物の反復投与毒性試験において脾臓、膀胱への影響が観察されている。変異原性・遺伝毒性では *in vitro* 及び *in vivo* 試験で陽性を示す報告がみられる。ヒトでの発がん性に関する報告はないが、実験動物において膀胱及び腎盂、甲状腺の腫瘍の発生率の増加が報告されており、IARC ではグループ 2B と評価されている。生殖・発生毒性試験については報告がない。

本物質は環境中に放出された場合、大気中では OH ラジカルとの反応が関与しており、半減期は数時間と計算される。水圏では生分解される。環境庁のモニタリングでは、水質及び底質から検出されたことがある。水圏環境生物に対する急性毒性は甲殻類で強い。

2) 指摘事項

- (1) 実験動物で膀胱及び腎盂、甲状腺の腫瘍の発生率増加が報告されている。
- (2) 変異原性・遺伝毒性の *in vitro* 及び *in vivo* 試験で陽性を示す報告がみられる。
- (3) 化学物質管理促進法の第一種指定化学物質に指定されており、排出量の管理が必要である。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料(2000).
- 2) 有機合成化学協会編, 有機化学物辞典, 講談社(1985).
- 3) IPCS, International Chemical Safety Cards(1989).
- 4) IUCLID(International Uniform Chemical Information Data Base)Data Sheet, EU(1995).
- 5) 分配係数計算用プログラム“C Log P”, アダムネット(株).
- 6) 化学辞典, 東京化学同人(1994).
- 7) NIST Library of 54K Compounds.